

豊かな心の育成推進プラン

重点取組分野	具体的取組
豊かな心	①年間を通して学年・ブロック等で交流(たてわり活動)を行い、温かい人間関係を育む。 ②道徳的実践の場を充実させ、思いやりの心を育むため、実生活との関連を重視した道徳の授業づくりを行う。 ③子どもの自己肯定感を高めるため、感動体験や集団での達成感を得られる行事や活動を計画し、一人ひとりの成長を積極的に評価する。
担当	特活・道徳・学校行事

豊かな心に関わる本校の状況			
低学年も高学年も学校生活について、おおむね肯定的にとらえている児童が多い。特に遠足や宿泊体験、運動会などの、学校行事を楽しみに心待ちにしていた様子がアンケートの意欲的に取り組んだ児童の割合の多さに表れている。行事を通して一回り大きく成長する姿も多く見られたことから、学校行事の内容の充実をより図ってきたい。 児童一人ひとりの多様性や個性を認め、積極的によさを見つけ褒める機会を増やし、自己有用感を高めていきたいと考えている。 (令和5年度 学校評価アンケートより)			
③学校では、友達と助け合ったり、協力したりして、過ごしています。			
<table border="1" style="margin: 0 auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center;">62</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">30</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">5</td> </tr> </table>	62	30	5
62	30	5	
④学校行事等では、友達と一体感や、達成感を感じています。			
<table border="1" style="margin: 0 auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center;">54</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">36</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">8</td> </tr> </table>	54	36	8
54	36	8	

今年度の目標
自分も みんなも 大切に思いやりの心を育てる

目標を実現するための具体的行動プラン	
上半期	<ul style="list-style-type: none"> ○各クラス・各学年が友達との気持ちがつながり合うことのできる機会を設け、「だれもが安心して過ごすことができる」を目指した環境づくりを整備する。 ○年度当初に、学校生活についてのアンケートを行い、1回目の子どもの教育相談を行う。 ○Y-Pアセスメント2回目の実施。学級の実態に応じた社会的スキルを設定し、認め合う学級集団づくりにつなげる。 ○ペア学年での活動・異学年交流でかかわり合うよさを感じさせる。 ○人権研修の場を通して、教職員の意識の向上の推進を図り、多面的な児童理解と具体的な支援・指導、協力体制を実践する。 ○自分づくりパスポートを活用して自分の成長や変容を見通したり、振り返ったりすることで、自らを見つめ直し、自尊感情を育て、自己有用感につなげていく。 ○スクールサポーターズ、学援隊、農援隊の方々の存在を知り、地域への愛着を高める。
下半期	